

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

羊ヶ丘養護園 VOL. 18
平成28年11月12日 小野

羊ヶ丘養護園創立60周年記念特別記念講演

～九州大学名誉教授 田嶋誠一先生をお迎えして～

平成28年10月31日、私達、羊ヶ丘養護園の職員は大変貴重で恵まれた機会を頂きました。それは、当園の安全委員会の顧問である九州大学名誉教授田嶋誠一先生に当園の創立60周年特別記念講演を行って頂く事になったからです。

世界的にも有名な田嶋先生の講演を受けられるまたとない機会であった為、札幌市児童相談所や他の児童養護施設の先生たちにも声を掛けたところ多くの職員の参加があり、田嶋先生の愛弟子でいらっしゃる北翔大学の澤先生ご夫妻も参加され、当園の職員と合わせて総勢46名が記念講演に参加しました。

今回の講演は「子どもの成長を引き出す安全委員会」、「心の壺～壺イメージ法～」というテーマの下に行い、先生の説明の中には5円玉の穴に糸を通して手で持ち、頭で「動け」と考えることで5円玉が動くというワークや自分の心を壺に見立て、自分でその壺に入っている中身を図にし、グループ内で発表するといったワークもあり記念講演は和気あいあいとした感じで進められました。講演の中では安全委員会についての具体的な説明や「いじめ」と「ケンカ」の定義の違い、「壺イメージ描画法」の説明など盛り沢山であり、我々職員は2時間という限られた時間の中でも分かりやすいように丁寧に説明して下さいました。田嶋先生の人柄と田嶋先生の考え方に対して深い感銘を受けました。

記念講演の様子



※記念講演のために1か月前から学習していた新任職員は、田嶋先生からの質問に緊張しながらも一生懸命答えていました



田嶋先生ありがとうございました！

暴力に関しては、ベテランと新人で差があってはならず、施設を挙げた取り組みが必要ということを知り、私自身子どもたちとの関係を築くために、子どもたちと積極的に関わっていくという意識をもって動いていきたいと思いました。

壺イメージ法については、こころの壺を実際に体験し、終わった後に自分の中でとてもスッキリとした感じを味わいました。貴重なお話を聴くことができ、自分が恵まれた環境で働いていることを改めて感じました。

勤続1年：成田

毎月の聴き取り調査において、大きな事柄でも、微小な事柄でも丁寧に対応し解決していくことが子どもたちの安心・安全な生活を保障するために必要なことであると感じ、安心・安全が確保されて初めて子どもの成長を引き出すことができることを改めて学びました。心の壺の体験では50円玉を使って心の声が行動で表れました。子どもたちのマイナスの心の声をプラスに変えていくことができるように、私たち職員が様々な経験をさせてあげることが、子どもたちの成長や希望を引き出すことに大切なことだと思いました。

勤続2年：阿部

安全委員会を導入している施設で働くことができる幸せと、児童がいかに安心・安全に守られ生活しているのか、心に染み込みました。私は1年目ですが、今子どもたちに何をしてあげべきなのかをしっかりと見つめ直す良い機会ともなりました。

暴言・暴力だけでなく、子どもたちの喜びや目標を聴くことができるようになった時には、成長の証だと思いますので、そのような話がたくさん聴けるよう努めていきたいと思っています。

勤続1年：遠藤

事例の中で出された“子どもたちは施設を選べない”という田嶋先生の言葉が印象に残っています。だからこそ、すべての子どもが安心・安全な生活の中で健やかに成長していけるよう、職員が一貫してケアの向上と継続に努めていく必要があるのだと感じました。力量や専門性が違うどの職員であっても、子どもたちの安心・安全を保障していけるようにならなければならないのだと今回の研修会で学び、自身のスキル向上を図っていききたいと思います。

勤続2年：細野

羊ヶ丘養護園60周年お祝い会 の出席ありがとうございました

当法人は今年、創立60周年を迎えました。この歴史の中で、羊ヶ丘養護園に安全委員会が設置され6年が経つこともとても意義深いことです。そこで、お祝い会に田嶋先生と初代委員長南先生、現山岸委員長をお招きしたところ、お三方、快くご出席して下さいました。田嶋先生にはご挨拶の中で、「安全委員会活動に対する当法人の理事会の協力の様子や、前千葉園長の子どもたちを体罰から守る取り組み、職員の児童ケアに対する専門性」などについて、お褒めの言葉を頂きました。また、祝宴の最後に50代になる卒園生が涙ながらに語った施設への感謝の言葉をきいて、田嶋先生から「先生方！いい仕事してるね！」と声をかけて頂き、とても嬉しくなりました。これからも、子どもたちの幸せのために頑張ります。ありがとうございました。 副園長 大畑 和子

九州から空路はるばる、記念講演のために駆けつけてくださった田嶋先生は開口一番、「まるで同じ日本とは思えないほど寒い～～」。でも、その日は、寒さに慣れている道民でも寒い日だったのに、なんと先生がコートを着用されていないことに私たちは驚きました。3月に九大に行ったとき、「暑い！」と半袖の職員がいたけど、今回はその逆バージョンか？

新施設を田嶋先生に見て頂きたいという想いと、田嶋先生に一度も会ったことがない職員に「安全委員会に対する先生のお話を直に聴かせたいという想いから」講演をお願いしましたが、予想通り、先生の児童福祉施設の子どもたちを暴力から護る情熱を強く感じ、安全委委員会の理解をより深めることができました。田嶋先生には、寒さ厳しい札幌でしたが、先生の周りにいた職員一同は、先生のあたたかいお人柄に触れさせて頂くことができ、寒さを忘れるととてもあたたかい時間でした。感謝いたします。

園長 三浦 伸子